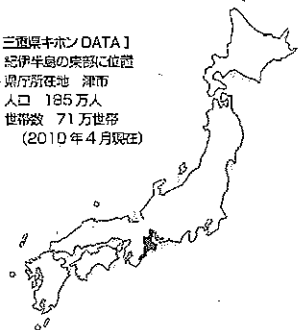


三重県で研修医になろう!

三重県といえば、何を思い浮かべるでしょう。パワースポットの伊勢神宮? それとも伊勢エビやアワビ、松阪牛といったおいしい食べ物?

そんな伝統文化や食文化がそろそろ三重県ですが、「MMC 卒後臨床研修センター」という機関を中心に、他県とは異なる新たな初期臨床研修制度が実施されようとしています。研修制度の新しい道、どんな制度なのでしょう。

- 【三重県キホン DATA】
- 総人口の東部に位置
 - 県庁所在地 津市
 - 人口 185万人
 - 世帯数 71万世帯 (2010年4月現在)



▲NPO 法人 MMC 卒後臨床研修センターとは・・・

MMCとは、Mie Medical Complexの略で、三重県での臨床研修と地域医療の充実のために、県内の臨床研修病院と医師会、県、各種医療団体が中心となって設立した機関。平成16年8月30日に三重県知事よりNPO法人の認可を受ける。現在、三重県内の卒後研修と地域医療において、各病院間、指導医、研修医間の交流、情報交換を行い、研修を支える様々な取り組みを実施している。

MMCへ突撃インタビュー

MMCとは一体どんな活動をしているところなのか? 私たちは医学生を代表し、三重大学医学部 医学・看護学教育センター助教でNPO法人MMC卒後臨床研修センター事務局局長兼実行委員長の松本和隆医師にお話を伺いました。

MMCって何をしたらいいところなんですか?



合同説明会とか...

中尾(以下、N) & 稻穂(以下、R):

今日はよろしくお話しします!

松本先生(以下、MMC):こちらこそ、よろしくね。

▶Q1 まずはMMCの役割について教えてください。

MMC 三重県の臨床研修と地域医療を充実させていくことが主な役割です。具体的には、研修医のオリエンテーション、Advanced OSCE、講演会・セミナーなどの主催・共催や、みえ医師バンク(職業紹介事業)等があります。

この研修病院情報誌「まる三重ガイド」もホスズメです

▶Q2 学生のために、MMCが病院の合同説明会も主催してらっしゃいましたよね。私も参加したのですが、MMCの会員病院はいくつくらいあるのですか?

MMC 法人会員は現在48団体あって、三重県内の基幹型研修病院(初期研修を受け入れている施設)が全て参加しています(一詳しくはp.65を参照)。協力型・学生実習・専門医研修に携わる法人会員が、医学生や研修医の皆さんを支えてくれますよ。ですから三重県で研修を行うと、自分のなりたい医師像や専門医研修を想定しながら、研修をすすめていくことができます。初期研修を修了した後も、継続してMMCが皆さんの様々な相談にのりますよ。いつでもご連絡ください。

▶Q3 それは、とても助かりますね。

MMC それからMMCは合同説明会だけではなく、県内の病院を志望する学生のために合同面接会(2010年は8/29(日)を予定 *事前に各病院に願書提出のことも)も行っているんですよ。

▶Q4 それは便利ですね。一つの会場で、学生が多くの病院を受験することができるので助かりますね。

MMC さらに今考えているのは「MMC初期研修プログラム」。これまで県内の第一希望の病院にアンマッチし、やむなく県外の病院へ行ってしまった先輩が



「MMC初期研修プログラム」というのはね...

なるほど!!

三重県の新しい研修制度

「MMC初期臨床研修プログラム」構想とは

ここでは、「MMC初期臨床研修プログラム」構想について、より詳しく知ってもらおうと思う。平成24年度の初期研修プログラムからの実施を目指しているため、実現すれば、現在の5年生から適用となる。
※現時点では案の段階であるため、詳細は変更になることがあります。

- ①研修医1年目は所属病院で臨床研修を行い、1年目の12月をめどに2年目のローテーション希望をNPO法人MMC卒後臨床研修センターまで提出。研修医2年目開始から11ヶ月間、MMCプログラムに参加している病院間を(制限付きで)自由にローテーションすることができる。ただし、2年目に必ず他の施設をローテーションしなければならないわけではなく、所属施設にて今まで通り研修を修了させることも可能である。
- ②MMCプログラム採用施設では、共通の研修評価表・手帳が作成され、研修医がどの施設で研修を行っても同一の評価を受けることができる。
- ③三重県内の臨床研修病院の多くがこのプログラムを採用予定であり、該当する病院のプログラム名称には「MMC」の文字が入る。例:「●●病院MMC初期臨床総合プログラム」等
(なお、本プログラム参加の有無は各病院へお問い合わせください)

ここがポイント!

- ①第一希望の病院(県内)にアンマッチした場合でも、本来自分が第一希望であった病院での臨床研修を、実際に受けるチャンスがある。
- ②現行のシステムでは、就職した基幹型病院で予め決まっていた協力型施設でしかローテーションすることができなかったが、本プログラムでは2年目に県内全域のMMCプログラム参加施設に行くことが可能となるため、本人の希望に応じて、内容的により自由度の高い研修プログラムを組むことが可能である。
- ③MMCプログラムを通じ複数の基幹型研修病院での研修が可能になることによって、現行のシステムでは分りづらい他の施設の状況が明確に把握できるようになる。その結果、初期研修修了後の専門医研修を行う施設選定の参考にもなる。

▶ローテーション例

1年目										2年目																			
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
内科										救急			選択必修1		選択必修2		地域医療			「MMCプログラム」を利用し、県内のMMC研修病院をまわる(*以下の例を参照)									
										A病院 産婦人科			B病院 小児科		C病院 外科		専門診療科												
										皮膚科			A病院 外科		外科														
										A病院 小児科			B病院 小児科		C病院 小児科														

(例a) 将来何科にすむか決めていない場合

(例b) 外科希望の場合

(例c) 小児科希望の場合

*他の病院へ出ず、ずっと所属病院の研修を受けることも可能

三重県内の個々の病院情報については、次頁からのマッチングnavi三重特集へGo!!

たくさんいると思います。でもこのプログラムでは、県内のいずれかの病院にマッチすれば、1年目はそのマッチした病院で、2年目は県内の好きな病院で研修することができるようになります。ただ、人気のある病院は応募人数も多くなる予想されるので、研修の時期をずらしてもらおうといった調整の仕方を含め、今後MMCとしても検討していく予定です。

▶Q5 なるほど。このプログラムだと、本来第一希望だった病院でも研修できるようになりますね。そのためにも、まずは自分の研修希望先をしっかりと決めることなど、何を参考にしたいのか悩んでいるのですが……

MMC MMCでは、「初期研修ガイド」などの情報誌を発行していますので、まずはHP(<http://www.mmc-center.com/>)から資料請求してみてください。また、メールアドレスでも皆さんのお役に立てるような情報を随時、発信していますよ。

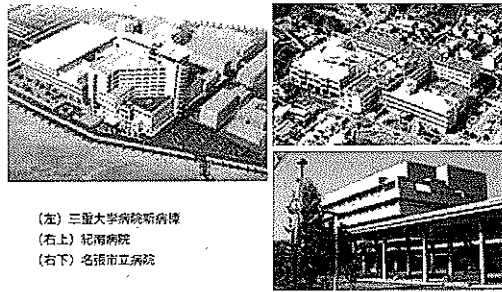
▶Q6 そうなんですか私は県外出身なのですが、今回のお話をきいて、ぜひMMCを活用させてもらって、今後の研修先を決めたいなあと思いました。



▼事務局スタッフとともに… 今日本当にありがとうございました。

三重大病院群

三重大学医学部附属病院
名張市立病院
紀南病院



(左) 三重大学病院新病棟
(右上) 紀南病院
(右下) 名張市立病院

NPO法人 MMC 卒後臨床研修センター事務局より

MMC の主な事業内容

■卒後臨床研修の充実に関する事業

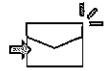
- ・新研修医オリエンテーション
- ・マッチング合同試験会
- ・輪流セミナーなど各種講演会
- ・臨床懇話会（研修医向け症例発表検討会）
- ・Advanced OSCE 大会（研修医向け臨床技能評価）
- ・三重県研修病院合同説明会
- ・初期研修まる三重大ガイド 冊子発行
- ・へき地医療臨床研修支援システム選定事業（三重県委託事業）
- ・地域医療研修まる三重大ガイド 冊子発行
- ・臨床研修指導医養成講習会（厚生労働省認定）

■地域医療の充実に関する事業

- ・有料職業紹介事業「みえ医師バンク」（三重県委託事業）
- ・専門医まる三重大ガイド 冊子発行
- ・三重県研修病院合同説明会



MMCでは、医学生・研修医向けのメールマガジンを月1~2回発行しています。病院についての情報や研修医による現場レポート、手技に関するQ&Aやプレゼントキャンペーンなど、きっと皆さんに役立つ研修情報満載です。三重県外にお住まいの学生の会員も大募集中！興味のある方はぜひ下記ホームページよりお問い合わせください。



NPO法人 MMC 卒後臨床研修センター

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
三重大学医学部附属病院 10階
TEL 059-231-5429 FAX 059-231-5440
E-mail jimukyoku@mmc-center.com
URL <http://www.mmc-center.com>
理事長 竹田 寛 事務局長 松本 和隆



将来に向けての皆様の研修生活をMMCが全力でサポートいたします！どうぞお気軽にお声をお寄せください。スタッフ一同、お待ちしております！



MMC事務局長 松本

■MMC卒後臨床研修センターの法人会員（平成22年6月現在）
（基幹型病院）いなべ総合病院 (p.76)、桑名市民病院 (p.66)、山本総合病院 (p.66)、四日市社会保険病院 (p.67)、市立四日市病院 (p.67)、三重県立総合医療センター (p.68)、鈴鹿中央総合病院 (p.76)、鈴鹿回生病院 (p.77)、岡波総合病院 (p.68)、三重大学医学部附属病院 (p.64)、津生協病院 (p.70)、独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター (p.71)、松阪中央総合病院 (p.76)、済生会松阪総合病院 (p.72)、松阪市民病院 (p.73)、山田赤十字病院 (p.78)、市立伊勢総合病院 (p.75)、三重県立志摩病院 (p.75)
（協力型病院等）東員病院、菟野厚生病院、鈴鹿厚生病院、塩川病院、村瀬病院、亀山市立医療センター、上野総合市民病院 (p.69)、名張市立病院 (p.64)、独立行政法人国立病院機構三重病院、武内病院 (p.69)、橿原温泉病院 (p.69)、遠山病院、永井病院 (p.70)、三重県赤十字血液センター、藤田保健衛生大学七葉サトリアム (p.71)、済生会明和病院 (p.72)、南勢病院 (p.73)、松阪厚生病院 (p.74)、花の丘病院 (p.74)、大台厚生病院、田中病院、南鳥メディカルセンター、尾鷲総合病院、紀南病院 (p.64)
（その他の団体）三重県医師会、三重県病院協会、三重県病院事業庁、三重県厚生連、日本赤十字社三重県支部、自治体病院協議会三重県支部

※（ ）内は、本誌での掲載ページです。

三重大学病院群初期研修の特徴

- 1 大学病院の長所と研修協力病院の長所とを合わせた研修プログラムを提供
- 2 将来のキャリアパスに合わせて体系的な研修プログラムを自由に組み立てることができます
- 3 初期研修と専攻医修練が効率的に繋がるプログラムを用意します
- 4 各科毎の指導責任者のもとで、きめ細かな指導を受けることができます
- 5 初期から高度技能まで対応可能なシミュレーターが充実したスキルズラボを利用してクリニカル・スキルの修得が可能です
- 6 協力病院が豊富で、県内はもとより県外協力病院での全国レベルでの研修や、海外提携大学での研修が可能です
- 7 以上を、メンター（ロールモデル教アドバイザー）が目標達成までサポートします

◇ローテーション（希望未定）

1年目												2年目											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科												外科											
	救急											産科											
												小児科											
												地域医療											
												整形外科											
												希望科											

研修医よりメッセージ

4月から1ヶ月の間、タンザニアのムビンビリ大学病院小児科で実習をする機会を得ました。異文化での医療のあり方の違いとても興味を持っていたので、三重大学での初期研修中に海外での研修が認められている点は非常に大きな魅力でした。現地では医学生生のグループに混じり、懐かしくも新鮮な気持ちで病院実習をさせていただきました。短い期間ではありましたが、日本との違いに思いを馳せ、いろいろなことを考えました。今回は、何か技術を得るためや支援を行うために海外に行ったわけではありませんが、非常に有意義な時間であり、研修医という時期にそのような時間をもてよかったと思います。



研修医 佐藤 三輪 美穂

今回の特集は⑧の県外研修・海外研修についてです

- 県外協力病院
杏林大学（東京都）
東京大学（東京都）
和歌山総合病院（和歌山県）
茅ヶ崎総合病院（神奈川県）
聖隷浜松病院（静岡県）
協立総合病院（愛知県）
川崎医科大学（岡山県）
- 国立大学協定校
秋田大学医学部附属病院・岡山大学病院の国立大学病院協定の提携により特色ある効果研修を行うプログラム。



▲タイのコンケン大学での研修（外科研修の一環として経験できます）

● 東北州プロジェクト
紀伊半島における行政的枠を超えた大学間連携により地域医療の専門研修を推進し、地域医療の活性化と高度医療人の育成を図るプロジェクト。年に1~2回の合同研修会を開催。

● 東海若手医師キャリア支援プログラム
東海地域における7大学とその関連病院の医師育成システムを相互に構築しながら、当地域で研修する全ての若手医師にキャリアパスを提示し、最終的に当地域全体に専門医を定着させる仕組み。



▲タンザニアのムビンビリ大学での研修

募集要項
募集定員：31名
身分：研修医（病院群研修中は正規職員となります）
研修手当：月額 基本給+病院群手当
600万円～850万円
（病院によって異なるため病院毎の手当の詳細は各HPを参照して下さい）
休暇：土日祝祭日、有給休暇、夏季休暇あり
宿舎：あり
健康管理：採用時および定期健康診断あり

- 海外では
ニューメキシコ大学（アメリカ）
テキサスメディカルセンター（アメリカ）
コンケン大学（タイ）
ムビンビリ大学（タンザニア）
ザンビア大学（ザンビア）
- 名古屋大学
神戸大学
浜松医科大学
三重大学
名張市立病院
徳島大学
秋田大学（協定校）

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174 三重大学医学部附属病院10階卒後臨床研修部
TEL: 059-231-5654 FAX: 059-231-5661 E-mail: 三重大学医学部附属病院 resident@doc.medic.mie-u.ac.jp

三重大学医学部附属病院卒後臨床研修部HP <http://www.medic.mie-u.ac.jp/resident/>
三重大学医学部附属病院卒後臨床研修部研修医ブログ <http://mieu-resident.jugem.jp/>
三重大学医学部附属病院スキルズラボHP <http://www.skillslab-mit.jp/>
名張市立病院HP <http://www.city.nabari.lg.jp/tpr/menu000000300/hpg000000210.htm>
紀南病院HP <http://www.kinan-hp-mie.jp/>
三重県地域医療研修センターブログ <http://www.kinan-hp-mie.jp/kensyu/>

6月1日(火)～8月16日(月)
願書受付中!!
（お問い合わせは resident@doc.medic.mie-u.ac.jp まで）

地方独立行政法人 桑名市民病院

三重県桑名市を中心とした、約24万人の背景人口を有する地域の中核病院としての役割を担う、救急医療に特化した第一線の急性期病院です。週2～3日は24時間一次、二次救急患者の受入をする総合病院として機能しており、年間二次救急患者の受入数はトップです。



- ◎診療科 内、循環器、呼吸器、神経内、外、肛門外、脳神経外、整形外科、産婦人、皮膚、泌尿器、小児、眼、耳鼻咽喉、精神、歯科口腔外、放射線、麻酔 (分科：循環器内、心臓血管外、消化器内、内、外)
- ◎病床数 234床+分科79床
- ◎医師数 28名+分科3名+研修医3名
- ◎1日平均入院患者数 137名/日+分科15名/日
- ◎1日平均外来患者数 453名/日+分科117名/日
- ◎1日平均診療時間外救急外来患者数 10名+分科2名 (救急車搬送患者含む)
- ◎専任人数 4名(予定)
- ◎選考方法 当院で随時行う面接試験、もしくはMMC事後臨床研修センター主催の合同試験会(8月下旬頃)
- ◎身給 分 正規職員
与 1年目(手当含む)：月額59万円、賞与120万円、年額830万円程度
2年目(手当含む)：月額59万円、賞与170万円、年額870万円程度
- ◎手当 通勤手当、超過勤務手当、当直手当、賞与
◎宿 舎 (法人契約による民間賃貸住宅)

【臨床研修の特長】

当院は地域第一線病院として一次、二次救急の受入れもトップで、週2～3日は24時間一次、二次救急患者を診療する施設として機能しており、各科の豊富な症例のもとに数多くの救急医療を経験することができます。また、22年度から、三次救急専門の救命救急センター、小児救急医療拠点病院及び大学病院が、新たに協力病院として加わります。当院の救急研修プログラムは、他の病院と比較してもたいへん充実しているものと自負しております。

【臨床研修の環境】

急性期型の病院として地域に密着した医療を行っています。このためプライマリケアの内容が充実しており、卒業臨床研修に求められる医師像はこの病院にあるといっても過言ではありません。2年目のエリクティプは12カ月の長期にわたり、三重大学の保健病院や泉州救命救急センターなど、非常に選択の幅が広いので、3年目以降の後期研修を見越して有意義な研修になることは間違いありません。ぜひ我々とともに卒業臨床研修をエンジョイしましょう!

〒511-0819 三重県桑名市大字北別所416番地1 地方独立行政法人 桑名市民病院 総務課 栗田 義久
TEL:0594-22-7111 E-mail:byoinin@city.kuwana.lg.jp URL:http://hospital.city.kuwana.lg.jp/

四日市社会保険病院

当院は、健診センター、病院、老健施設が同一敷地内にあり、がん検診、生活習慣病予防から先進的な治療、高齢者福祉の一貫したサービスが提供できます。また、診療内容を明確化するためのセンター化を先行。先端機器の導入、チーム医療体制作り、認定看護師、メデイカルアシスタントの配置、院内保育所の整備や短時間勤務正規職員制度の導入などを行って、より、勤務環境作りにも力を注いでいます。



- ◎診療科目 内、消化器、循環器、外、肛門、小児、整形外科、麻酔、産婦人、泌尿器、眼、放射線、耳鼻、皮膚、精神
- ◎病床数 235床 ◎1日平均入院患者数 158名
- ◎医師数 46名 ◎1日平均外来患者数 547名

初期研修の特長

1. 研修プログラムを自由に選択できる
2. ファーストタッチで経験が積める
3. 研修医に対して職員全員で受け入れる体制が整っている
4. 研修医に対して優しい態度を持つ経験豊富な指導医が多数揃っている
5. 高いレベルのメディカルからフィードバックが受けられる
6. 最先端の検査・診断機器を有しているため、珍しい疾患・症例も豊富である
7. 最先端の検査・診断機器が揃っている

後期研修について

大腸肛門病、IBDセンターを併設しており、多くの大腸肛門病疾患が経験でき、早く内視鏡検査にも熟練できる。ESWLが早く導入されており、結石治療治療に多くの知見を有し、放射線科、皮膚科が揃う。また、数少ない「フマデ」腫瘍専門科や呼吸器科専門医、痔核・痔瘻専門医がいるため、貴重な症例を学ぶことができ、国内外での研修も可能。

◆応募・問い合わせ先

〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号 事務局総務課 藤原 小林 哲
TEL 059-331-8331 E-mail yokkab32@diary.ocn.ne.jp URL http://www.zensharen.or.jp/ykib/public_html

医療法人 山本総合病院

当院は名古屋から程近い三重県桑名市にあります。349床と中規模の病院ではありますが、common diseaseをしっかり学べ、2年間で基礎知識・技能は十分に修得できる環境が整っております。



- ◎診療科目 内、消化器、循環器、呼吸器、神経内、小児、外、心臓血管外、呼吸器外、脳神経外、整形外科、産婦人、眼、耳鼻咽喉、泌尿器、放射線、皮膚、麻酔、精神科、リハビリテーション
- ◎病床数 349床 ◎1日平均入院患者数 230名
- ◎医師数 36名 ◎1日平均外来患者数 620名

初期研修の特長

今までの先輩研修医の意見を多く取り入れ、フレキシブルなプログラム作りを取り組んでおります。1年目に基本科目をしっかり研修したうえで、2年目に選択科目を1ヶ月選んでおります。その中で専門性を高めたり、救命救急・感染症・NICU・海外研修等の研修も可能です。

後期研修について

後期研修では専門性を高め、各科において認定医・専門医の取得を目指します。当院だけに留まらず、より専門性の高い他院短期留学等も可能です。

◆応募・問い合わせ先

〒511-0061 三重県桑名市寿町三丁目11番地 新山 昌和
TEL 0594-22-1211 E-mail kanshu@yamamoto.or.jp URL http://www.yamamoto.or.jp

市立四日市病院

当院は、22の診療科の卒業臨床研修評価機関認定病院です。三重県北勢地区の高度医療を担う急性期病院として、24時間の救急診療体制をとっている症例数の極めて多い病院です。



- ◎診療科目 内、精神、神経内、呼吸器、循環器、消化器、小児、外、形成外、呼吸器外、心臓血管外、整形外科、脳神経外、耳鼻咽喉、皮膚、泌尿器、眼、産婦人、放射線、リハビリテーション、麻酔、歯科口腔外
- ◎病床数 568床 ◎1日平均入院患者数 452名
- ◎医師数 141名 ◎1日平均外来患者数 1,621名

初期研修の特長

内科系、外科系多くの診療科をローテーションすることで医師として基本的な技術を身につけると共に、地域医療では、8つの医療施設から選択。また、選択科目も6ヶ月あり将来の目標にあわせて希望に合った研修を行うことができます。

後期研修について

当院では初期臨床研修を修了された方について、3年目から5年目までの3年間を対象に後期臨床研修を行います。当院での後期臨床研修では、専門科での専門的技術の習得とともに、救急医療への従事を義務づけられます。

◆応募・問い合わせ先

〒510-8567 三重県四日市市芝田二丁目2番37号 総務課 総務係 岡崎 晃典
TEL 059-354-1111(内線5211) E-mail byuinsoumu@city.yokkaichi.mie.jp URL http://www.city.yokkaichi.mie.jp/hospital/

三重県立総合医療センター

当院は県北勢地域の高度医療・救急医療を担っており、救命救急センターによる救急医療、3大成人病の専門医療、周産期医療を中心に診療を行っています。また県の基幹災害医療センター、新感染症診療拠点病院としての機能も担っています。

施設DATA

- ◎診療科目 内、消化器、循環器、呼吸器、神経内、小児、放射線、精神、外、産婦人、整形外科、心臓血管外、呼吸器外、眼、脳神経外、泌尿器、麻酔、耳鼻咽喉、皮膚、リハビリテーション
- ◎病床数 一般床416床、救急センター30床 ◎1日平均入院患者数 281.0名
- ◎医師数 86名 ◎1日平均外来患者数 583.3名

初期研修の特長

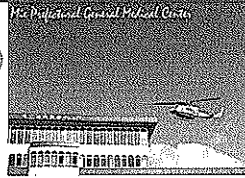
当院での初期研修の特長は救急医療と幅広い診療科です。当院は24時間365日3次救急に対応しているため、内科系外科系を問わず幅広い救急患者の経験を積むことができます。指導熱心な上級医が多く現病でも多くのことを教わることでありますが、週2回勉強会を隔週し夜間の輪を設けることで、皆で共有し討論しあう中で身に付けることができます。また、幅広い診療科を有しており、専門的知識を充実した指導医のもとで学ぶことができます。

後期研修について

2年間の初期研修修了後もシニアレジデントとして3年間研修することが可能です。専攻科のみの研修だけでなく、後進科を再度研修することも可能であり、独自の研修計画を立案・実行することができます。

◎応募・問い合わせ先

〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450番地の132 運営調整部 総務課
TEL 059-345-2321 E-mail sogohos@pref.mie.jp URL http://www.pref.mie.jp/SOGOHOS/HP/



ひとこと

- ◎募集人数 10名
- ◎選考方法/期間 面接
- ◎給与 1年次 約500~600万円/年
2年次 約600~700万円/年(諸手当等含む)
- ◎手当 当直手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、原簿補助手当など
- ◎その他 医師公舎あり

鈴木 あゆみ 医師 (2年目研修医)

当院では現在2年目9人、1年目7人が研修しています。特長として救急医療を挙げましたが、初期対応は研修医が行い、鑑別診断・検査を組み立てた上で上級医にコンサルトをするため、考える力が身に付くだけでなく、その場でフィードバックがもらえます。また、指導熱心な上級医だけでなく、様々な職種の方達がとても優しく病院全体で私達を指導してくれているという雰囲気も魅力です。是非1度見学に来て、雰囲気を実感してみてください。

上野総合市民病院

当院は、地域の中核病院として、また地域災害拠点病院としての使命も担っている病院です。敷地内に健診センターを併設し、巡回健診とあわせて市民の健康維持に努めています。また、外来、入院、透析、救急等の治療を通して、医師として基礎知識や技術を十分学べる症例豊富な施設です。

施設DATA

- ◎診療科目 内、循環器、神経内、小児、外、脳神経外、整形外科、婦人、泌尿器、眼、皮膚、耳鼻咽喉、放射線、リハビリテーション
- ◎病床数 281床 ◎1日平均入院患者数 124.4名
- ◎医師数 18名 ◎1日平均外来患者数 377.2名

初期研修について

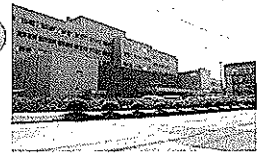
三重大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院です。

後期研修について

消化器分野では上部、下部内視鏡検査から内視鏡治療などを行っているため、消化器から肝、胆、脾疾患まで幅広い勉強が可能です。指導のもと、研修医の先生には検査、処置など多くの手技を経験していただき、その過程の中で理論を勉強していただく方針です。

◎応募・問い合わせ先

〒518-0823 三重県伊賀市四十九町831番地 庶務課 田中
TEL 0595-24-1111 E-mail byuoin-shomura@city.iga.lg.jp URL http://www.city.iga.lg.jp/ctg/26121/26121.html



医療法人 岡波総合病院

病床数339床の1922年に開設された医療法人で、松尾吉彦や忍野の里、三重県伊賀市のほぼ中心に位置します。アクセスは大坂・名古屋から車で70分程度です。20万医療圏の中核病院としての役割を果たし、地域にとってなくてはならない存在です。診療科16科、老健3施設、訪問看護、看護専門学校併設。

施設DATA

- ◎診療科目 内、神経内、循環器、外、脳外、整形外科、泌尿器、心臓血管外、肛門、小児、産婦人、麻酔、リハビリテーション、放射線、皮膚、耳鼻咽喉
- ◎病床数 339床 ◎1日平均入院患者数 285名
- ◎医師数 28名 ◎1日平均外来患者数 629名

初期研修の特長

研修理念は、「医師としての自覚を持ち、人として成長する」です。後々、医師として身につけるべき基礎的な臨床診療、診断手技、全人的医療を学べる施設と感じつつ、医療という仕事のすばらしさを直接感じていただきたいと思えます。

後期研修について

後期研修は、原則受入可能です。募集科は内科、外科、脳神経外科、整形外科、麻酔科、循環器科、泌尿器科、心臓血管外科、眼科、小児科です。

◎応募・問い合わせ先

〒518-0842 三重県伊賀市上野薬町1734 庶務課 岩本 昌平
TEL 0595-21-8361 E-mail okacfic@ict.ne.jp URL http://www.pkanami.com



ひとこと

- ◎募集人数 2名
- ◎選考方法/期間 面接 8月頃
- ◎給与 1年次 約750万円/年
2年次 約900万円/年(諸手当等含む)
- ◎手当 通勤手当、当直手当など
- ◎その他 単身者用宿舎あり

中川 洵 医師 (研修管理委員長/副院長)

当院は創立以来伊賀を中心とした地域の中核として地域医療を守り、地域に育てられてきました。地方病院ゆえ、医師数はギリギリですが、各、日々の診療に、研修医の指導にと、忙しく積極的に取り組んでいます。医師間も互いに信頼し合い仲がよいです。研修医には指導医のみならず、諸先輩と関わりあうことで、医師としての知識・技術・医療に対する姿勢を学ぶ身につけて欲しいと思っています。地域医療の一翼を担う覚悟で当院の臨床研修に参画いただくことを望んでいます。

武内病院

- ◎診療科目 内、泌尿器、外、整形外科、神経内、健康診断、人間ドック、人工透析、血液内、腎、尿管結石破砕装置、内視鏡、心・胸部エコー、マルチスライスCTスキャン
- ◎病床数 147床
- ◎医師数 14名(内指導医6名)
- ◎1日平均入院患者数 125名
- ◎1日平均外来患者数 250名

当院は津市中心部に位置し、地域の皆様のニーズに応える最新医療と温かい治療環境の提供を目指しております。県内初に開始した人工透析は平成18年に免費の人工腎センターを増設し、現在350名の透析を行っています。尿管結石治療では約一万人、前立腺癌の治療では、手術に加え高密度焦点式超音波治療(HIFU)を行っております。医学生の皆様の病院見学、初期研修の地域医療研修のご相談を受け付けております。

◎問い合わせ先

武内病院 〒514-0031 三重県津市北丸の内82 事務局長 矢下 謙己
TEL 059-226-1111 URL http://www.takauchi-hosp.jp/
榊原温泉病院 〒514-1293 三重県津市榊原町1033番地の4 事務局長 中森 研司
TEL 059-252-1111 URL http://www.sakaki-hosp.jp/

医療法人 暁純会

榊原温泉病院

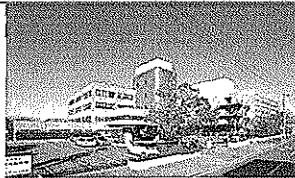
- ◎診療科目 内、整形外科、脳神経外、神経内、泌尿器、眼、リハビリテーション、歯、歯科口腔外科
- ◎病床数 305床
- ◎医師数 14名(内指導医8名)
- ◎1日平均入院患者数 252名
- ◎1日平均外来患者数 178名

温泉に定評あるこの地で最新医療機器をそなえて内科、整形外科、脳神経外科各科の診療を進めてまいりました。さらに当院には、脳血管障害、骨折手術後、事故後後遺症等の患者さんに、チーム医療で集中的にリハビリを提供する回復期リハビリテーション病棟があり、一日も早い機能回復と、その方らしい生活をして頂けるよう全職員が一丸となり取り組んでおります。

両院とも、三重大学医学部附属病院、および三重中央医療センターの協力型病院です。

☎電話にて、見学・後期研修の相談を受付中です

医療法人 永井病院



当院は津市の二次救急指定病院であり、消化器、循環器、整形外科疾患を中心に診療を行っています。中規模病院でありながら、外科、整形外科の手術件数は年間約800例以上あり、循環器疾患に対する治療も年々増加。運動画像検査は年間約600例(うち経皮的冠動脈形成術は200例以上)あります。消化器、循環器、整形外科疾患に対しては、津市の救急医療に中心的な役割を担っています。質の高い医療だけでなく、医師どうしのコミュニケーションの良さ、さらに看護師を含めたメディカルスタッフの良さが当院の魅力であり、大病院にはない充実した仕事が行えます。

病院DATA

- ◎診療科目 内、外、整形外科、循環器、心臓血管外、婦人、神経内、泌尿器
- ◎病床数 256床 ◎1日平均入院患者数 約180~220名
- ◎医師数 15名 ◎1日平均外来患者数 約420名

専門医研修について

外科専門医研修施設
循環器専門医研修施設指定病院
整形外科専門医研修施設指定病院
内科専門医教育関連病院指定病院

専門医研修について
ご相談受け付けております。

◆見学・問い合わせ先

〒514-8508 三重県津市西丸之内29-29 ◎事務長 永田 達巳
TEL 059-228-5181 E-mail info@nagai-hp.or.jp URL http://www.nagai-hp.or.jp/

津市からのアクセス

卒業臨床研修は、専門医の取得だけでなく、専門とする分野にかかわらず適切な診断、治療ができるようになることを目的に行う必要があります。そのためには、大病院では行えないような、地域に密着した医療を行える病院での研修を、ぜひ行っていただきたいと思えます。また、いずれの科を選択するにしても、患者さんおよびメディカルスタッフとコミュニケーションがよくとれるような豊かな人間性のある医師とされるように研修していただきたいと思えます。また当院では、県内で初めて外来入院に対応した心臓リハビリテーションを開設しました。64列MDCTや1.5T MRIなどの最新診断装置を用いた非侵襲的診断も充実しています。興味がある皆さま、ぜひ一度目に来て下さい。ご案内します。

見学・問い合わせ受付中ですよ!

お気軽に電話でお問い合わせください。

津生協病院



津医協生協の組合員(約27,000世帯)の方々を支えられ、救急医療から在宅医療まで、地域に根ざした住民のための医療を展開しています。2007年からは津市の二次救急指定病院(給付制)として、救急医療にも取り組んでいます。病院や診療所、介護事業所のネットワークを活かし、保健予防から介護福祉分野まで総合的な取り組みを行っています。

病院DATA

- ◎診療科目 内、小児、外、整形外科、肛門、神経内、呼吸器、循環器、消化器、アレルギー、リウマチ、リハビリテーション、放射線
- ◎病床数 149床 ◎1日平均入院患者数 144名
- ◎医師数 13名 ◎1日平均外来患者数 263名

初期研修の特長

地域の第一線医療を担い、救急(二次救急)から在宅医療までのケアミックス体制の中で豊富なcommon diseaseを経験し、基礎的・全人的な医療を身につける。各科をローテーションの中で一定の責任を持ち、各職種専門性を活かしたチームの中心となって患者様を深く総合的に診る力をつける。定期的に振り返り評価を行い、個々に合わせた日常的な、また各科の壁を越えた全医師による集約的なフォローアップ体制をとっている。患者様の声をフィードバックできる体制の中で地域医療の視点を身につける。

後期研修について

初期研修を踏まえた5年間を通して、地域医療の第一線を支える医師を育てる。幅広く豊富な症例を経験し、家庭医、総合医を含めたジェネラリストとしての力量を身につける。各学会教育病院の協力を得ながら、サブスペシャリスト、スペシャリストを育てる。

◆応募・問い合わせ先

〒514-0801 三重県津市船頭町1721番地 ◎事務長 榎尾 茂貴
TEL 059-225-2848 E-mail zimuoty@za.ztv.ne.jp URL http://www.tsucoop.jp/tsu

募集要項

- ◎募集人数 2名
- ◎選考方法・時期 面接・随時
- ◎給与 1年次 約540万円/年
2年次 約780万円(諸手当等含む)
- ◎手当 通勤手当、賞与2回など
- ◎その他 宿舍を貸与(住宅手当35,000円)

小西 一豊 医師(プログラム責任者)

規模が小さく、地域に密着した病院だからこそできる、地域医療を担う医師を育てるためのプログラムとして、初期研修だけでなく後期研修も視野に入れ、プライマリ―に患者さまを診る力を身につけることができます。また、研修を進めていく際には、研修医の個性をみるのももちろん、研修医も含めた振り返り会議での意見を重視して研修内容に反映させています。そして、全スタッフに敬意を払って育てられた研修医は患者様に優しく診療することができるようになり、患者様からも愛される医師になる…そんな幸せな医師生活を約束します。

津市からのアクセス

藤田保健衛生大学 七栗サナトリウム



三重県の中央(津市、旧久居市)にあり、全県から緩和ケアやリハビリテーションの依頼を受けています。栄養サポートチームのメックで、また特色あるリウマチ医療を実践し、専門性の高い病院です。

病院DATA

- ◎診療科目 内、外、リハビリテーション、歯
- ◎病床数 218床 ◎1日平均入院患者数 196.5名
- ◎医師数 18名 ◎1日平均外来患者数 94.8名

初期研修について

協力型病院相当大学病院として、リハビリテーション、緩和ケアを選択することが出来ます。三重大学附属病院、鈴鹿衛生病院との組み合わせです。

後期研修について

外科 緩和と緩和学講座、リハビリテーション医学講座、内科のいずれかに所属して頂けます。大学ですので、専門医取得を目指す臨床研修と共に学位取得が可能です。

◆応募・問い合わせ先

〒514-1295 三重県津市大島町424番地の1 ◎事務部長 下村 慎子
TEL 059-252-1555 E-mail hp-hp4@hp.fujita-hu.ac.jp URL http://www.fujita-hu.ac.jp/HOSPITAL4/

病院DATA

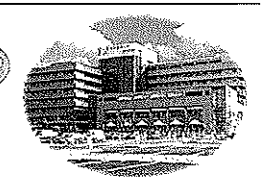
- ◎診療科目 内科、外科、リハビリテーション科
- ◎身分 常勤(大学教員)
- ◎給与 各科により異なります
- ◎その他 宿舍あり

同期 英人 医師(リハビリテーション医学講座 講師)

リハビリテーション、栄養管理、緩和医療、リウマチ医療の有名なスタッフがいる特色あふれた病院です。大学ではありますが、約200床と規模が大きくないため各科の風通しも良く、気軽に相談しながら治療を行います。学生時代や初期研修であまり触れなかったような分野ですが、患者さんの生活や人生という視点から行う医療で非常に重要な役割を担っています。少しでも興味があったら、是非一緒に仕事しませんか。

津市からのアクセス

独立行政法人 三重中央医療センター 国立病院機構



平成10年開院し、MRI、CT、内視鏡なども最新機器を揃えている医療センターです。高速久居インターに位置するため、診療圏が拡大し、症例が豊富です。臓器別診療やチーム医療などスタッフ間の風通しが良く、急性期とともにプライマリケアも充実しています。

病院DATA

- ◎診療科目 内(内分泌・代謝科)、精神、神経内、呼吸器、消化器、循環器、リウマチ(膠原病内科)、小児、外、整形外科、脳神経外、呼吸器外、心臓血管外、皮膚、泌尿器、産、婦人、眼、耳鼻咽喉科、リハビリテーション、放射線、歯、歯科口腔外、麻酔
- ◎病床数 500床 ◎1日平均入院患者数 380名
- ◎医師数 72名 ◎1日平均外来患者数 745名

初期研修の特長

2年間を通して行う全診療科での救急研修、総合産科母子センターなどでの産婦人科・小児研修、がん診療病院としての腫瘍学研修、循環器・呼吸器疾患や感染症・リウマチ膠原病などのプライマリケアなどの多彩な症例をバランスよく研修できます。臓器別診療体制で内科研修中も外科症例を経験でき、麻酔科24時間対応で緊急症例を豊富に経験できます。症例数を研修医で割った実績に経験できる症例数が多いことが特長です。

後期研修について

基本的には診療科スタッフとしての常勤採用です。他の国立病院機構内の病院、ナショナルセンター、米在日邦人病院など国内外留学も可能です。

◆応募・問い合わせ先

〒514-1101 三重県津市久居明神町2158-5 ◎事務部長 班員 矢部
TEL 059-259-1211 E-mail ta-ozawa@miechuo.hosp.go.jp URL http://www.miechuo-hosp.jp

募集要項

- ◎募集人数 4名
- ◎選考方法・時期 面接など
- ◎給与 1年次 約53万円/月
2年次 約55万円/月
- ◎手当 通勤手当、宿日直手当など
- ◎その他 宿舍あり

小寺 仁医師(2002年開院後2年24日研修)

当院は、三重の県庁所在地である津市に位置する産科病院であり、幅広い症例が集まっています。一般的な内科に加えて、膠原病、神経内科などの診療科もあり、不明熱のような研修医が自ら考え、学ぶ機会が多い症例も少なくありません。また、脳神経外科や心臓血管外科があり、脳血管障害や大動脈瘤など、緊急を要する症例も集まりやすく、Criticalな病態に対する救急の場での初期対応を身につけるには最適な環境です。今年は昨年の初期研修医の多くが当院での後期研修に残っており、当院の卒後研修にも勢いが出てきました。

津市からのアクセス

恩賜財団 済生会松阪総合病院

地域医療支援病院 NPO法人事後臨床研修評価機関認定病院



病院の概要

開設：昭和12年1月26日
 開設者：社会福祉法人 恩賜財団済生会支部
 院長名：諸岡 秀人
 病床数：430床
 標榜科：内科、消化器科、循環器科、精神科、神経内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

研修責任者からのメッセージ

外科部長 長沼 達史(三重大学卒)

当院では患者さんのみならず仲間との「人と人との係わり」を大切にす良質なスタッフに囲まれ、恵まれた環境で研修、教育、診療が行われています。

- ①「高い志・プロ意識」の共有化:指導医講習会修了者約8割
- ②チーム医療への参加による良質な態度の習得と習慣化
- ③研修医や若手医師による気軽で安心な屋根瓦方式「皇帝ペンギン」のような忍耐強さと医師の社会性、同僚や他のスタッフとの協調性を学び、地域医療への参加など積極的に社会貢献ができる医師を目指してまいります。

お問合せ先

〒515-8557 三重県松阪市朝日町一區15番地の6 ●外科部長 長沼 達史 / 総務課 山川 剛
 TEL 0598-51-2626(代表) E-mail saikai@mitsusaka.saiseikai.or.jp URL http://www.mitsusaka.saiseikai.or.jp

松阪市民病院

本院は、1946年に健康松阪市民病院として創設して以来、増強を繰り返し、現在、最先端の設備を会館し、松阪市並びに周辺地域27万人の医療圏の中核病院として、初期・救急医療から高度の専門的な医療に至るまで、主として急性期の医療全般を担当しております。



病院DATA

- ◎診療科目 内、循環器、神経内、外、小児、整形外科、脳神経外、産婦人科、泌尿器、眼、耳鼻咽喉、皮膚、放射線、麻酔、精神、リハビリテーション、歯科口腔外、形成外、リウマチ
- ◎病床数 328床 ◎1日平均入院患者数 253名(21年度)
- ◎医師数 38名 ◎1日平均外来患者数 575名(21年度)

初期研修の特長

松阪市民病院では、みなさんに、将来プライマリーケアに処置し得る第一線の臨床、あるいは高度の医療を担う専門医のいずれを目指すにも必要な診療に関する基本的知識、技能及び態度を修得させることを目的としています。研修内容については、厚生労働省が示す必修、選択科目での研修以外に2年目にエレクトブ研修を1ヶ月追加し、専攻診療すべき科目の研修を行うことができます。また、その期間中に日本医科大学での救急研修や緩和ケアの研修も行うことができます。

後期研修について

2年間の初期臨床研修を修了され、専門的なより高度な知識・技術を修得することを目的として3年間の後期研修を設けております。研修期間中の最終年については、国内の他病院にて1年間の派遣研修を行うことが可能です。

◆応募・問い合わせ先

〒515-8544 三重県松阪市京町1550番地 総務推進課
 TEL 0598-23-1515 E-mail keisui.div@city.matsusaka.mie.jp URL http://www.city-hosp.matsusaka.mie.jp

募集要項

- ◎募集人数 5名
- ◎選考方法・期間 平成22年8月29日(日)、MMC合同面接会にて1年次 約750万円/年
- ◎給与 2年次 約840万円/年(諸手当等含む)
- ◎手当 研究手当、通勤手当、住宅手当、賞与など
- ◎その他 単身用宿舎、世帯用宿舎あり



栗川 義博 医師(2009年卒) 2009年卒
 私が、松阪市民病院を選んだ理由は、病院見学时に諸先生方スタッフに非常に優しく接して頂き、雰囲気が大変好印象だったので、迷わず選択しました。実際の研修は、ハードなこともありますが、悩んでいたら話を聞いて頂いたり、時には助まて頂いたり本当に感謝しております。つらい事はばかりでなく、桜の咲くころには、花見を行ったり、職員旅行で海外に行けたりと楽しいイベントもあります。研修先を選われている皆さん、是非一度病院見学に来て下さい。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会明和病院

当院では「救済済生」の理念のもとに、患者様の生命と生活を大切に、満足と信頼を得られるように心のごもった医療サービスをご提供しております。また、広大な敷地と緑あふれる環境でこの地域における病診連携、病院連携を密にし、地域完結型の複合施設として地域の方々に喜んでいただける医療・福祉施設を目指します。



回復期リハビリ病棟 三重県下最大規模

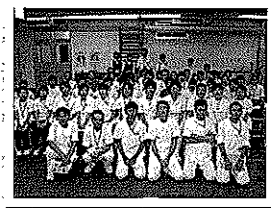
病院概要

病床数：264床 回復期リハビリテーション病棟131床・療養病棟33床
 一般病棟100床(重症心身障害児施設50床含む)
 臨床研修病院(協力型)・日本リハビリテーション医学会研修施設

医師数：25名(非常勤を含む)

指導医から一言

当院は、広大な敷地で各福祉施設、サービス事業を併設し、地域に密着した医療福祉に貢献しております。近隣の急性期病院より、脳卒中、大腿骨骨折等のリハビリテーションのご紹介が多く、回復期リハビリテーション病棟では365日休みなく密度の高いリハビリテーションを提供しています。在宅復帰を主眼に地域密着の医療を中心とし、三重県下最大規模のリハビリ特化病院を目指しております。

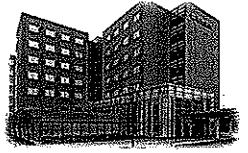


◆資料請求・問合せ先

〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435
 TEL 0598-52-0131 E-mail mh-off1@ma.mctv.ne.jp URL http://www.melwa-saiseikai.jp/ 担当 杉原 良村

南勢病院

近年、精神的ストレスや悩みを抱える方が多く、従来の精神疾患に加え、うつ病や不安障害等ストレス関連疾患、また、住民の高齢化に伴い認知症も増え、地域における精神科医の重要性はますます高くなっています。当院は患者様個々のニーズにチーム医療で対応し、精神科救急、リハビリ、精神福祉に至るまで一貫した医療サービスを提供しています。



病院DATA

- ◎診療科目 精神、心療内、リハビリテーション、内、歯
- ◎病床数 256床(精神科病床205床うち措置指定病床20床・一般療養病床51床)
- ◎医師数 21名

初期研修について

済生会松阪総合病院、松阪中央総合病院、松阪市民病院、山田赤十字病院の協力病院です。

後期研修について

当院の多職種(医師、薬剤師、看護士、栄養士、臨床心理士、作業療法士、精神科ケースワーカー等)によるチーム医療と充実した医療環境の中で専門医を目指しませんか。病院見学、お問合せ、ご相談等随時受け付けております。

★詳しくは当院ホームページをご覧ください

◆応募・問い合わせ先

〒515-0052 松阪市山室町2275 事務局長 野呂 文彦
 TEL 0598-29-1721 URL http://www.nansei-hospital.jp/



松阪厚生病院



総病床数780床(精神科590床、一般170床、緩和ケア20床)の精神科を中心とした病院です。精神科における急性期症状の対応から慢性期における療養、地域医療まで半世紀以上にわたる地域の精神科医療の中心を担ってきました。今後も精神と身体を一体と考えたリエゾン医療により更なる地域の付託に応える医療機関を目指しています。



病院DATA

◎診療科目 消化器内、循環器内、呼吸器内、腎臓内、精神、外、心臓内、皮膚、整形外、眼、歯、緩和ケア、血液透析、人間ドック、生活習慣病予防健診、定期健康診断、児童思春期外来、精神科救急、リハビリ

◎病床数 780床 ◎1日平均入院患者数 752名
◎医師数 41名 ◎1日平均外来患者数 224名

初期研修について

当院は協力的な臨床研修病院として、複数の管理型病院から研修医を受け入れています。精神科研修における到達目標に加えて、多くの研修医の興味に応じた内容の実習を行います。

後期研修について

後期研修では、日本精神神経学会精神科専門医・精神保健指定医の資格を取得すべく専門的な研修を行います。経験を積んだ個性豊かな指導医が、常に日々にサポートします。

◆応募・問い合わせ先

〒515-0044 三重県松阪市久保町1927番地の2 () 地域医療連携室 田中
TEL 0598-29-1311 E-mail tanaka@matsusaka-kousei.com URL http://www.matsusaka-kousei.com



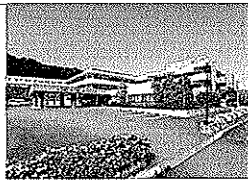
川本 ぼつみ 医師 (精神科部長、卒前医師・卒後医師研修担当医員)

当院は地域のの中核病院として機能し、入院・外来患者も多く、思春期から老年期までの幅広い症例を経験できます。精神科のみならず内科病棟・緩和ケア病棟・透析センターを併設することも特色です。医局はやや手狭ですが、その代わり気軽に相談出来る雰囲気や当院の目標です。現在3名の後期研修医が在籍中。皆さんも当院で精神科医としての第一歩を踏み出してみませんか？

医療法人 花の丘病院



当院は、平成14年に県下で初めての介護型と医療型を備えた病床を有する病院として開設しました。平成19年から、病床の一部を回復期リハビリテーション病棟へ変更しました。入院・通所・訪問によるリハビリテーションの機能も備えています。



病院DATA

◎診療科目 内、婦人、脳神経外、リハビリテーション
◎病床数 96床(回復期リハビリテーション病棟45床、医師病室病棟51床)
◎医師数 20名
◎1日平均入院患者数 92名
◎1日平均外来患者数 65名

初期研修について

松阪市民病院の協力病院です。

後期研修について

リハビリテーション科について受け入れております。当院は、内科・婦人科・脳神経外科とも密に連携した、ゆたかな内容の研修を進めて頂くことができます。

病院見学

随時受け付けております

◆応募・問い合わせ先

〒515-0052 三重県松阪市山室町707番地3 () 事務長 高杉 功
TEL 0598-29-8700 E-mail hanahp@mctv.na.jp URL http://www.shoutoku.or.jp/hanahpoka/

初期研修について

◎募集科 リハビリテーション科
◎給与 当院規定により相談可
◎その他 年金、保険、宿舍あり

「花の丘病院」で検索してホームページもご覧ください



当法人は、利用者主体の運営を行い、リハビリを主に在宅生活支援、自立支援を中心とし、地域に根ざしたサービスの提供、改善に努めています。自然に恵まれた環境の中で、リハビリテーション専門医を目指しませんか？

市立伊勢総合病院



当院は、伊勢神宮のまちとして全国から多くの観光客が訪れる伊勢市に位置し、急性期疾患を中心に南勢地区の中核病院として重要な役割を果たしています。専門医などの有資格者が多数常勤しているため、それぞれの分野で質の高い診断や治療を提供できるものと自負しています。



病院DATA

◎診療科目 内、循環器、神経内、外、整形外、形成外、小児、産婦人、皮膚、泌尿器、眼、耳鼻咽喉、精神、脳神経外、歯科口腔外、麻酔、病理検査、放射線

◎病床数 322床 ◎1日平均入院患者数 約250名
◎医師数 43名 ◎1日平均外来患者数 約750名

初期研修の特長

1年目は内科6か月、救急部門3か月、選択必修2科目(外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科)3か月、2年目は地域医療1か月の夜、11か月の自由選択科目を研修できます。特に、神経内、消化器内、消化器外、整形外、麻酔科、放射線科に優秀なスタッフが豊富に揃っています。その他、形成外科、皮膚科、泌尿器科等研修が可能です。

後期研修について

内科(消化器、循環器、血液、呼吸器)、神経内、外、整形外、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、放射線科で後期研修医を募集します。後期研修医一人一人の希望に併せて、オーダーメイドの研修プログラムの作成が可能です。

◆応募・問い合わせ先

〒516-0014 三重県伊勢市橋部町3038番地 () 事務部総務課 松井 裕一
TEL 0596-23-5111 E-mail hos-soumu@city.ise.mie.jp URL http://hospital.ise.mie.jp

病院DATA

◎募集人数 2名
◎選考方法・時期 面接
◎給与 1年次 約640万円/年
2年次 約760万円/年(諸手当等含む)
◎手当 通勤手当、宿日直手当、解雇手当など
◎その他 独身用舎あり

梅村 想 医師 (2年目研修医)

当院は決して大きな病院ではありませんが、地域になくはならない病院であり、ひとりひとりの先生がともも熱心です。少人数であるからこそ可能な程度の深い研修、他科へのコンサルトのしやすさ、コメディカルとの密な連携、全てが良い研修をさせてもらっていることを実感させてくれます。病院全体で研修医の成長を見守ってくださるような温かみもあります。百聞は一見に如かず、是非一度見学に来てください。

三重県立志摩病院



伊勢志摩国立公園の真ん中に位置し、地域住民約8万人の健康を守るための急性期医療を担う唯一の総合病院です。また、精神科病床100床を有することから、精神合併症に対する医療を経験することも特長です。



病院DATA

◎診療科目 内、循環器、外、脳神経外、小児、産婦人、整形外、皮膚、泌尿器、眼、耳鼻咽喉、精神、神経内、放射線

◎病床数 350床 ◎1日平均入院患者数 246.0名
◎医師数 26名 ◎1日平均外来患者数 340.7名

初期研修の特長

必修科目は、内科6ヶ月、外科6ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療1ヶ月で、自由選択が10ヶ月と長く、自由度の高いプログラムとなっています。また、三重大学医学部附属病院、山田赤十字病院、三重県立総合医療センター等の協力病院や、陸奥へは地産地消や中小病院等の協力施設が多く、幅広い病院施設と連携していることも特長となっています。

後期研修について

後期研修は、オーダーメイド研修で、期間は1〜3年で1つ2つの診療科でも複数科でも可能です。基本診療科(内科、外科、整形外科、精神科)での認定医・専門医研修を目指す方や、消化器内視鏡(大腸専門)を目指す方、ぜひ来てください。

◆応募・問い合わせ先

〒517-0595 三重県志摩市阿児町鶴方1257番地 () 吉村 野間
TEL 0599-43-0501 E-mail shos@pref.mie.jp URL http://www.shimahp.pref.mie.jp

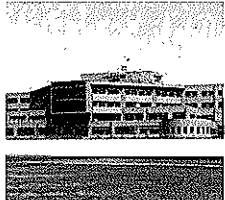
病院DATA

◎募集人数 2名
◎選考方法・時期 面接(8月下旬)
◎給与 1年次 約700万円/年(諸手当等含む)
2年次 約770万円/年(諸手当等含む)
◎手当 当直手当、通勤手当、住居手当、扶養手当など
◎その他 医師舎あり

2年目研修医

志摩病院では、地元にお住まいの高齢者の方だけでなく、観光に来られる方の病気や事故など、多種多様な症例を経験することができます。地域密着型の病院であり、スタッフとのコミュニケーションもアットホームかつ円滑であり、とても働きやすいです。また、各科の負担も無く、気軽に相談でき、選考料を返す際にも研修医の希望に親身に対応していただけます。勉強する時間も確保でき、大変効率よく研修できる環境であると思います。

いなべ総合病院



◎診療科目 内、消化器内、循環器内、呼吸器外、外、整形外科、脳神経外、小児、泌尿器、肛門、産婦人、眼、耳鼻咽喉、皮膚、放射線、麻酔、リウマチ、リハビリテーション

◎病床数 220床

◎医師数 40名

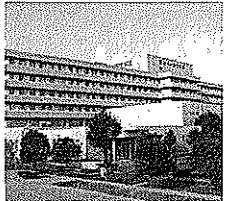
◎1日平均入院患者数 196名

◎1日平均外来患者数 864名

後期研修について

ベテラン指導医と徹底したマンツーマン方式で実習します。専攻科は、消化器内科、循環器内科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科(平成23年度より)です。

鈴鹿中央総合病院



◎診療科目 内、循環器内、消化器内、腎臓内、血液・腫瘍内、神経内、呼吸器外、小児、外、整形外科、脳神経外、皮膚、眼、泌尿器、耳鼻咽喉、産婦人、心臓血管外、麻酔、精神、リウマチ、リハビリテーション、放射線、病理診断

◎病床数 460床

◎医師数 83名

◎1日平均入院患者数 385名

◎1日平均外来患者数 829名

後期研修について

毎年数名までの枠で後期研修医を採用しています。過去に内科、神経内科、外科、放射線科、病理診断科での採用実績があります。

松阪中央総合病院



◎診療科目 内、循環器、胃腸、神経内、精神神経外、整形外科、脳神経外、胸部外、産婦人、小児、眼、耳鼻咽喉、泌尿器、皮膚、放射線、放射線治療、麻酔、リハビリテーション

◎病床数 440床

◎医師数 79名

◎1日平均入院患者数 386名

◎1日平均外来患者数 985名

後期研修について

内科系(循環器、消化器、神内、血内、腎臓、放射)と外科系各科(外科、整形外科、脳外、泌尿器、麻酔)、小児科、産婦人科を選択できます。さらに3ヵ月間、県外で三次救急研修を行うことで技術を磨くことができます。

◆応募・問い合わせ先

いなべ総合病院 〒511-0428 三重県いなべ市北勢町下蓋777番地 副院長 荻村 智之
TEL 0594-72-2000 E-mail nonura@ish.miekosei.or.jp URL http://www.miekosei.or.jp/4_jsh/
鈴鹿中央総合病院 〒513-8630 三重県鈴鹿市安塚町山之花1275番地の53 総務課 奥山 山田
TEL 059-382-1311 E-mail resident@sch.miekosei.or.jp URL http://www.miekosei.or.jp/2_sch/
松阪中央総合病院 〒515-8566 三重県松阪市川井町字小屋102 副院長 野口
TEL 0598-21-5252 E-mail resident@mch.miekosei.or.jp URL http://www.miekosei.or.jp/1_mch/

診療圏唯一の地域中核病院であり、災害拠点病院、病院機能評価取得、各学会認定を受けた二次救急指定病院です。第一級の救急医療から専門的治療まで幅広く行っており、地域に根ざした医療を展開しています。

初期研修の特長

中規模病院の小回りの良さを最大限に生かした、実践的な研修が出来るプログラムを構築しています。各診療科の負担がなく、救急を担当した興味ある症例を診療科の枠を超えて、最初から主治医になることも可能な実習型研修病院です。救急時の診断・対応はもとより、気管内挿管、中心静脈確保、胸腔・腹腔穿刺、産婦人科、骨髄穿刺、胃・大腸内視鏡検査、超音波検査、基本手術手法を指導医がマンツーマンで責任を持って教育いたします。

荻村 智之 医師(副院長)

当院の救急医療は、原則として断ることのない体制を維持しており、いなべ地区でのたらい回しはありません。定期的に院内で開催される他、地域での講演会を通じて地域と連携を築き、地域になくてはならない中核病院です。特にレクチャーを多く習入し、基礎から実践までの学び機会を提供します。後進と人間的なサポートを持った医師の育成を目標としています。

当院は鈴鹿市と亀山市の中核病院であり、地域のあらゆる疾患が当院へ集まってくる。地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院でもあり、チーム医療も盛んで、明るく活発な病院です。卒後臨床研修後評価機関認定病院です。

初期研修の特長

地域のあらゆる症例が当院に集まるため、幅広く豊富な症例数を経験でき、かつ研修医同士の仲も良く、忙しいながらも楽しい研修医生活ができます。指導医はマンツーマン方式で、千重コースでは2年次に3ヵ月間大阪府済生会千里病院千里救命救急センターでの救急研修もできます。2年間でプライマリケアに必要な最低限の経験をしていただき、その結果、初期研修終了後はどこへ出てもしっかりとこなすだけの成長を身につけることができます。

村田 哲也 医師(救急・脳神経外科)

当院は近年ほぼフルマッチの、三重県下では人数のある研修病院の一つです。症例数も多く、基本的に見学しない研修システムであり、2年間で厚労省の定める研修目的をほぼ満足できます。初期研修の2年間は、その後の数十年の医師生活への基礎体力をつける時期とされています。当院で良質な医師としての基礎体力をつけて下さい。

当院は地域医療支援病院として三重県中南部地域の医療を守る基幹病院です。また地域がん診療連携拠点病院としても放射線治療装置(MRT)を導入して、より高度な集学的治療を行っています。卒後臨床研修後評価機関認定病院です。

初期研修の特長

2年間の研修は内科・救急・地域医療のほか、外科と精神科を必修として合計13ヵ月間研修します。その他の診療科(小児科・産婦人科・麻酔科など)は研修医個人ごとの志向にあわせ、選択期間での研修を設定します。

野口 光也 医師(総務課・プログラム責任者)

第一線の臨床医になれるかどうかは卒後臨床研修の2年間に決まるといっても過言ではありません。当院は急性期病院として非難に強靭で、症例に事欠くことはありません。また安全・確実な手法を身につけるためマンツーマンで「見学より実践」の方針で研修を実施しています。何でもやってみようという好奇心・探究心旺盛な研修医を病棟スタッフ一同お待ちしています。

医療法人斎寿会 鈴鹿回生病院

379床の急性期病院として鈴鹿・亀山地区の二次給養を担当しています。救急患者数は年間8,000件、うち救急搬送は約2,000件です。新しく大変きれいな病院で、医療設備も最新鋭の機器が揃い充実しています。また、IT化も進んでおり、電子カルテ、フィルムレス画像管理システムも整備されています。交通の便もよく、名古屋・京都まで車で約1時間です。



初期研修の特徴

- ・各研修科いずれも優れた専門医がいるため、より高度で専門的な研修が可能。
- ・病院全体で研修に対処する方針であるので、研修科単独では難しい症例や種々の問題に対しても柔軟かつ速やかに対応できます。
- ・選択科も充実させているので、研修医の希望に沿った研修が可能です。
- ・選択科科目もバラエティに富み、地域の施設の協力により特徴的なものとなっています。

初期研修プログラム

研修期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必修	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科	内科
選択												

後期研修等について

3年間の研修期間を標準としていますが、1~2年間の研修希望にも対応します。内科系(血液、循環器、消化器、神経内科)、外科系(外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科)ともにストレートに専門家の研修を予定していますが、各科のローテーションを含めて、研修医の希望に沿った幅広い研修も行います。また、当院以外での一時的な専門研修の希望や三重大での研修などにも柔軟に対応します。

◎応募連絡先

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1 人事課長 斎藤 良展 TEL 059-375-1212
E-mail saito@kaiseihp.com URL http://www.kaiseihp.com



◎診療科目 内(循環器、血液)、神経内、小児、外、整形外科、脳神経外、呼吸器外、泌尿器、産婦人科

◎病床数 379床 ◎1日平均入院患者数 320名

◎医師数 43名 ◎1日平均外来患者数 560名

◎募集人数

5名

◎選考方法

面接

◎処遇

身分:常勤
給与:1年次 約765万円/年
2年次 約860万円/年(当座手当含む)
手当:通勤手当、住宅手当
休日:日祝祭日、週休2日、有給休暇、夏季休暇
その他:組合あり

畠田 隆 医師(副院長)

当院の研修医をみると、1年目の研修が終わる頃に指導医の評価が格段に上昇した研修医が見受けられます。第一のポイントは研修医の積極性です。いずれの研修医も能力に大きな差はありません。開始当初何も分からないのは当然ですが、積極的に患者さんと接する、看護士さんなどのスタッフと接する、積極的に手技を覚え治療に参加する、そして分からないことは勉強し指導医に聞く。指導医は1から教えるのではなく態度を重視することがあり、積極性の見られる研修医は高く評価されます。そしてこれらが噛み合うと自己の能力を発揮できる研修になることは間違いありません。



▲ミシガン大学家庭医による研修指導

院内フットサル同好会▶



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

山田赤十字病院



人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

<p>それは私たちの 誇りです。</p>		<p>山田赤十字病院の 医師であること</p>
	<p>2011年 新築移転</p>	
<p>それは 私たちの力です。</p>		<p>支え合い、高め合う 仲間がいること</p>

2011年度研修医募集

本当の心を磨く修行、都会にはちょっとない素敵な道草をしませんか？

伊勢の国は古来から神の国です。いつもおかげさま・お互い様の心がまったりと流れております。
これからを考えている人がみえましたら、一度田舎に寄り道してみませんか？
決して無意味なことではないと信じています。

給与:1年目433,000円/月 2年目536,000円/月
賞与:1年目夏 450,000円・冬 450,000円 2年目 夏 480,000円・冬 480,000円
その他:各種社会保険(健康・厚生・雇用・労災)を適用する。時間外手当(2年目)、
通勤手当、住居手当、扶養手当、宿日当料、退職慰労金等

山田赤十字病院

〒516-0805 三重県伊勢市御園町海向810番地
TEL:0596-28-2171 FAX:0596-28-2965
E-mail jimubu@yamada.jrc.or.jp
<http://www.yamada.jrc.or.jp/>